

事後評価シート

コード 11-2-5	事務事業名 教育振興事業(社会科見学)	所管部課 学校教育部学務課
---------------	------------------------	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 日常生活に必要な衣、食、住、産業等について、基礎的な理解と技能を養うことを目的とする。	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 3年生から6年生の児童を対象に年1回社会科見学を学年ごとに全19校で実施。	根拠法令等
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 実施回数	活動指標の考え方(定義) 社会科見学を実施した回数
	成果指標名 1次 参加人数	成果指標の考え方(定義) 1次 社会科見学をした児童数
	1次	1次
	2次 文化的な理解の深まった生徒数	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)		11,369	14,370	14,329	15,898
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		11,369	14,370	14,329	15,898
	所要人員(B)	人	0.09	0.09	0.09	0.09
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	745	750	737	737
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	12,114	15,120	15,066	16,635
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (参加人数)	千円	2	3	2	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	回数			76	76
	実績値	回数	76	76	76	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	人数			6,186	6,338
	実績値	人数	5,880	5,966	6,186	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし。ただし、ニーズを把握するため、参加児童に対する満足度アンケートの実施を検討する。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	他市の実施状況について把握する。
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし

コード 11-2-5	事務事業名 教育振興事業(社会科見学)	所管部課 学校教育部学務課
---------------	------------------------	------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	1 目的の妥当性 1 上位施策の目的と一致していない・上位施策がない。	▼ 1	
	2 目標の妥当性 3 市が独自に目標を定量的に設定している	▼ 3	
	3 緊急性 3 どちらかと言えば、実施した方がよい	▼ 3	
2 市が関与する必要性	1 法的義務性 1 法律・条例・要綱・要領等で実施が規定されていない	▼ 1	
	2 必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼ 2	
	4 民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼ 4	
3 内容の適切さ	1 ニーズ 1 市民(庁内)ニーズが把握できていない、または、ニーズ把握が曖昧で説明できない	▼ 1	
	2 規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	▼ 1	
	2 公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である	▼ 2	
4 実施手段の適切さ	1 有効性 1 質・水準の改善にはあまり取り組んでいない	▼ 1	
	3 効率性 3 既に他の実施主体を一部活用し、コスト低減に取り組んでいる	▼ 3	
	5 独自性 5 国・都及び庁内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼ 5	
合計		27	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	幼い頃から国会や裁判所、工場等を訪れ、社会の動きに触れることで、実社会に対する意識・関心を高められることから、今後も継続実施する。ただし、本市の補助水準は、他市よりも高いことから、事業費の削減を図る必要がある。

18年度における改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・車種について、補助席使用で乗車定員に余裕がある場合と、市内及び近隣市を見学する3年生については、中型バスの配車とした。 ・バスガイドの添乗について都心部の見学が中心となる6年生を除きバスガイドの添乗を不要とし、経費の削減を図った。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・各市の状況把握に努め、当事業を含め就学援助事業との関係をはかりながら、保護者負担軽減事業全体で振興事業のあり方・必要性を検討すべきである。 ・見直しの方向については、他市の状況を把握した段階で見直しを検討すべきである。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	二次評価記載のとおり、各市の状況把握に努め、当事業を含め就学援助事業との関係を図りながら、保護者負担軽減事業全体で振興事業のあり方・必要性を検討すべきである。当面は、26市の実施状況を調査し、市の補助水準を把握し、自己負担を検討されたい。
--------	---	---